

日本語には組み方向によって二つのゆるやかな正書法がある

【例文】

一九八一年から二十年後の二〇〇一年十一月

1995年から17年後の2012年

サイタマノラッパー3は4月14日公開

この表紙のデザインは、
「和文組版」の原則に基づいて作成されています。
和文組版とは、縦書きの文章を、横書きの文章と同様に
左から右へ、上から下へと順に配置する方式を指します。

熊田 昭 t-mae@kobe-du.ac.jp

表紙設計 (佐藤正) 株式会社・タマノラッパー 20130424

熊田 昭 t-mae@kobe-du.ac.jp

和文組版の基本はベタ組みである

ベタ組みとは
字間ゼロで文字を並べること
字送りを文字サイズと同じ寸法にして並べること

字間均等アケ組み

字間均等ツメ組み

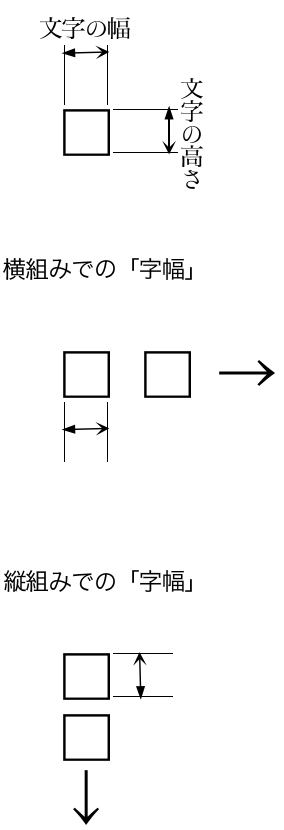
調整に使用可能な調整値は「0.1mm」

組み方による違い、文字クラスの違いによる調整値を見分けよう。

ベタ組み
神戸芸工大は、学園都市にある。そこに
字間均等アケ組み
神戸芸工大は、学園都市にある。
字間均等ツメ組み
神戸芸工大は、学園都市にある。そこに

組版演算の基本 行長の計算

行長 = 字送り × (文字数 - 1) + 字幅
行長 = 字幅 × 文字数 + 字間 × (文字数 - 1)



和文組版の原則、印刷の寸法、調整の単位、調整の単位

調整の単位	印刷の寸法	調整の単位	印刷の寸法
1	841×594	1	1030×728
2	594×420	2	728×515
3	420×297	3	515×364
4	297×210	4	364×257
5	210×148	5	257×182
6	148×105	6	182×128
7	105×74	7	128×91
8	74×52	8	91×64

印刷の寸法 (mm)

1H=0.25mm (単位)
1pt=0.3528mm (ポイント)

和文組版の原則、印刷の寸法、調整の単位、調整の単位